

## CONTENT

1. 巻頭言
2. ～新研究科長を訪ねて～  
森道哉 研究科長 × 大竹美紗子 校友会会長
3. 総会懇親会のご案内
4. 新幹事の紹介・総会・懇親会のご案内



## 巻頭言

公務研究科校友会 幹事 三野大輔 (7期生・2014年修了)

今年は公務研究科設立10周年

厳しい暑さが続いておりますが、皆さま、いかがお過ごしでしょうか。今号では、総会・懇親会のご案内を差し上げております。既に、お気づきの方もいらっしゃると思いますが、今年は公務研究科設立10周年という節目にあたります。今年の総会・懇親会につきましては、ホテルにて開催する予定です。10周年を祝うとともに、先生方や校友同士、母校に思いを馳せ、お集まりいただけますと幸いです。

私の思い出の場所

ところで、同窓会というのは不思議なものです。お知らせを受け取ったその時から、当時の恥ずかしかったこと、思い出深い場所や出来事が鮮やかに蘇ってきます。私の場合は、その多くが給湯室での出来事です。給湯室は、食事はもちろん、輪読やリサーチトリップの打ち合わせ、リサーチペーパーの製本作業、面接の練習や、時には愚痴を言い合ったり、ある時は、仲間の誕生日を祝ったり、... 自由に使われていました。

私も、ご多分に漏れず、後輩にエントリーシートの添削をしてもらったり、試験前日の不安を分かち合ったり、気づけば、ちょっと息抜きのつもりが3時間くらい談笑したりしていました。友人たちと話し込んで部屋を出た時には、不思議と不安が和らいだり、明日からまた頑張ろうとか思えたりする。少なくとも私にとっては、公務研究科での大学院生活を精神的に支えてくれる安らぎの場所の一つでした。

皆さまの公務研究科での思い出の場所はどこでしょうか？  
今年の総会・懇親会で、そんな話ができればいいなと思っております。

## ～新研究科長を訪ねて～ 公務研究科らしさとは？

森 道哉 新研究科長

×

大竹 美紗子 校友会 会長

2017.6.26 MON@Ibaraki,Osaka



Q：研究科長に就任されて3ヶ月が経ちましたが、いかがでしょうか？

A：専任教員14年目で、本所属は私学では珍しく、学部より大学院の方が長くなりました。08年9月に1-2期生と出会って以来、独立研究科の運営の難しさを、昨今は特に、18年度からの募集停止を受けてのそれを痛感しています。募集停止に至ったことについては、教授会の一員として、また代表して力不足をお詫びします。

いきなり車のハンドル（研究科長）を任された気持ちもありますが、今後に向けて話によく聞きたいという心構えで、現役生、また皆さんやこれまでに在籍した教職員の楔としてどのように働けるのかを模索する日々です。

Q：「楔として働く」、とは？

A：4月に11期生を迎えました。歴史が浅い教学機関とはいえ、各期ごとに、公務研に対するイメージや、修了後の公務研への係わり方が異なる部分があると感じます。様々な想いを持つ皆さんをどうつなぎうるのか、どのような関係を築いていけるのかは、課題として受け止めています。皆さんや歴代の教職員の力をお借りしながら、**公務研らしさ**として残るもの・残すものとは何かを考えていきたいですね。

Q：「公務らしさ」というキーワードについて

A：幅広く公務に携わること、物事を多角的に捉えること、解答がない（かもしれない）ことについて考えること、そのためにも学び方を学ぶこと……。 「公務研らしさ」という表現には、議論を通じて学術と実務のバランスを考えながら、こうしたことを大切にいくという想いを込めています。皆さんの実践の仕方は多様だと思えますし、それぞれが「公務研らしさ」を体現されているなと思うことがあります。たとえば、時折研究室を訪ねてくれる方もいますが、**その成長ぶりに驚かされ、感心することしきり**ですし、その会話から私が学ぶことも多いです。こうした経験は得難く、教員冥利に尽きます。

Q：今後について

A：公務研の募集停止は、校友会の終わりを意味しませんし、**できるだけ前を向きたい**と思っています。この感覚を、皆さんにも共有していただきたいと考えます。校友会が、また構成員の我々が、これから何をするか。そののみが、コントロールできることです。

**校友会の今後を自分自身の問題として、一緒に考えていただければと思っています。**

# ～OB・OG お仕事紹介～

みなさんこんにちは。公務研究科6期生の辻慎一郎です。現在、亀岡市役所にて勤務しており、4年目を迎えました。今年で28歳になりましたが、未だに独身を買き？実家から職場まで電車通勤です。2年前から「市長公室ふるさと創生課」に配属されました。そこでのお話を中心にご紹介させていただきます。

## ふるさと納税ブームの最中で与えられた大きなミッション

ふるさと創生課は2年前に新設された部署で2係5名体制です。主な業務として、移住支援や婚活支援、ふるさと納税などを扱っています。配属1年目は、主にふるさと納税の業務に携わりました。そこで配属早々に、市長から大きなミッションが与えられました。「1億円の寄付」を集めるよう命じられたのです。

金額の大きさだけでなく、自分自身がふるさと納税をしたことがなかったため、戸惑いがありました。そして、「亀岡に魅力ある産品がどれほどあるのか」と不安になりました。そこで、目標を達成するため、上司の先導のもと市内にある事業所を周り、協力を呼びかけました。約45社からの賛同をいただき、お礼の品も当初の13品から約150品まで増やすことができました。

## 目標を達成！京都府内で最優秀賞に

その結果、全国の方々から寄附をいただくことができました。2015年度は、約1800万円だったものが、2016年度には約1億7000万円にまで引き上げることができました。とりわけ人気なのは、亀岡牛や湯の花温泉の宿泊券、有機野菜、京野菜です。目標を達成するとともに、庁内の表彰制度で市長から最優秀賞を受賞したことは大変光栄なことでありました。

## ふるさと納税から移住支援業務へ

2年目は、打って変わって「移住支援」や「婚活支援」の業務に従事しています。亀岡市の人口は年々減少しています。特に20代の若者が就職を機に市外（特に京都市）へ転出する傾向があります。私は、個人的には、若者を亀岡市に留めたいとは考えていません。むしろ、若者は積極的に市外へ出て行くべきと思っています。なぜなら地域に閉じこもっては得られるものが限られるからです。新たな地域で経験を積み、様々な人脈を築いた方が、豊かな人生に繋がると考えるからです。なにより問題なのは、他市からの転入者が少ないことにあります。家族設計のなかで、子育て等のタイミングでUターンする人が少ないことが問題だと感じています。

## 「選ばれる」亀岡市にしたい

市外に住む私は、亀岡市への移住をPRする中で「亀岡市に住みたい人ってどれくらいいるだろうか？」と考えるようになりました。気になって亀岡市へ移住されて来た方に話を聞いてみると、「諸事情により移住した」という方が多いのです。亀岡市に魅力がないのではなく、選ばれるような亀岡独自のブランドイメージを確立する必要性を感じています。そこで、「子育てのタイミングで戻りたくなるまち」、「選ばれるまち」にするという観点から施策を思考錯誤しています。まず、今年の7月から実施する施策として、Uターン者で親世帯と同居・近居する方や亀岡でカフェやギャラリー等を営む若者に補助金を交付することになりました。

そのほかまた、シティプロモーションとして、「オーガニック」をテーマにした地域づくりを検討しています。亀岡市は府内でも有数の農地面積を有する、京野菜の一大生産地でもあります。モデル地区を選定して亀岡で有機野菜の栽培をしたいという移住者を呼び込み、有機野菜の一大生産地を整備できないだろうかと考えています。

## 人々を魅了する地域の資源を活かして

魅力の要素は農業だけではありません。亀岡には年間100万人以上の観光客が訪れるトロッコ列車の駅があります。ほかにも、2019年度には亀岡駅北に球技専用スタジアムが建設される予定もあります。こうした多くの人が集まる場所で、オーガニックやスローフードをテーマにした、お洒落なマルシェを定期開催できないだろうか。亀岡のイメージを作ることは大変難しいですが、**今あるものを活かし、磨き、発信する**。まずは何かやってみることが大切だと思っています。

ふるさと納税、移住、結婚…私が従事する業務はどれも自分自身が経験したことがないことばかりですが、裏を返せば**「自分だったらこうあって欲しい」と、我が事として考えられます**。

みんなも自分もハッピーになれるように、これからも「挑戦」を続けていきたいと思います。



## ～新幹事 就任の挨拶～

このたび立命館大学公務研究科校友会の新幹事となりました、堀翔一郎と申します。大学院在学期間中は院生協議会委員長として、より良い研究環境づくりのため、他の院生協議会委員と一致団結して、書籍の購入や院生が学びやすい授業時間帯への変更要望等を進めて参りました。

これからは校友会幹事として、院生と校友会や校友会同士のネットワークづくりに尽力していきたいと考えております。

今後とも、宜しくお願い申し上げます。



## ～総会・懇親会のご案内～

**開催日：2017年9月23日（土・祝）**

**時間：午後6時30分～（受付：午後6時～）**

**会場：ホテルセントノーム京都**

（JR京都駅八条東口より徒歩5分）

**会費：4,000円（飲み放題あり）**

**今年は、公務研究科開設10周年記念！**

**懇親会費用は校友会がドドンと補助しております！**



出欠はネットでも  
受付しております！

**皆様、是非ご参加ください！！**



## ～編集後記～

つい先日、高校の野球部で10年前から一緒だった友人の結婚式に出ました。彼が、素敵な奥様と一緒に、皆に祝福されているのを見て、意外なほど涙が止まりませんでした。

「自分と一緒にバカやっていたあいつが、あんな立派に…。」10年ってあつという間ですね。

さて、公務研究科校友会では、9月に年一回の総会・懇親会が開かれます。朱雀で一緒に過ごした仲間、給湯室でいつも集まった友達、先輩、後輩、そして支えてくれた先生方…。

久しぶりにみんなが集う、年一回のチャンスです。お忙しい中とは思いますが、ぜひ足を伸ばして、一人でも多く「ちょっと懐かしい顔」を堪能しませんか？京都でお待ちしています！

Rippo 事務局

〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1

TEL：075-813-8274

E-mail：rippo@st.ritsume.ac.jp

URL：http://www.ritsume.ac.jp/gssp/rippo/